



2月号

< 編集・発行 >

北海道大学新聞

編集部

<URL>

hokudaishinbun.com

(お問い合わせ・情報提供
もこちらから)

次の発行予定は4月

CONTENTS

・北大生にコメなど無料配布

…2面

・北大に「未来戦略本部」

…2面

・SDGs発想競う学生コンペ

…2面

・コロナ下大学活動工夫は「アンケート」

…2面

部活、制限まちなち 全国9国立大アンケート

◆各大学の課外活動への制限

大学	制限の内容	制限開始日
北大	全面禁止	11/18
東北大	ほぼ全面禁止	1/8
筑波大	許可制で活動を認める	10/1
東京大	全面禁止	1/11
一橋大	ほぼ全面禁止	1/8
京都大	許可制で活動を認める	1/12
大阪大	感染リスクが高くない活動(非接触など)のみ実施可能	1/13
神戸大	許可制で活動を認める	1/14
九州大	全面禁止	1/15

北大新聞は東北大学新聞と合同(京都大学新聞なども協力)で全国9国立大に新型コロナウイルスへの対応を聞くアンケートを実施した。全大学が部活動など課外活動を制限しているが、北大などのように全面的に制限する大学がある一方、京都大などは許可制で活動を認めており、制限の仕方はまちまちなことがわかった。(関連記事2面)

アンケートは1月26日(戸大、九州大の9大学から)2月10日に行い、北大、東北大、筑波大、東京大、一橋大、京都大、大阪大、神戸大、回答を得た。

回答日時点の課外活動の制限について聞いたところ、

全9大学が何らかの制限をしていた。ただ制限の方法では対応が割れた。北大や東京大、九州大は「全面禁止」と回答。一方、筑波大と京都大、神戸大は「許可制で活動を認める」として回答。

「ほぼ全面禁止」と回答したのは東北大と一橋大。東北大は「オンライン上での活動や、個人練習については認めている」と補足した。大阪大は「感染リスクが高くない活動(非接触)用具共有のない屋外活動」のみ実施可能」という。

そうした課外活動への制限を見直す時期も聞いた。九州大は2月上旬、大阪大は2月ごろ、神戸大は3月

ごらだった。ほか6大学は未定としている。

制限を見直す場合に見る要素を①行政の要請など②全国感染状況③都道府県感染状況④学内感染状況で聞くと、北大、東北大、筑波大、神戸大、九州大は①③④を見ると答えた。東北大と筑波大はこれに加え、②も見るという。このほかの大学は記述で回答し、東京大は「学内の会議で学内外の各種状況を総合的に見て検討」としていた。

式典でも感染対策

コロナ下で迎える卒業式や入学式は大半の大学が縮小開催を決めていた。開催可否を回答日時点で決めて

いない大阪大を除く8大学は式典当日、「換気や消毒、マスクなどの対策を取る」とする。これに加え「出席者の分散」「時間短縮」との回答も各7大学からあった。

全大学が独自基準

各種制限や感染状況を判断

新学期授業 対面orオンライン 分け方さまざま

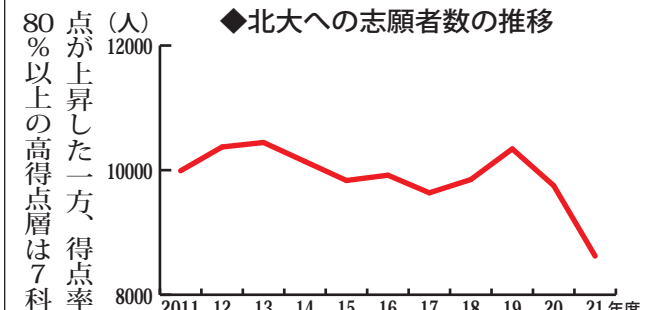
アンケートで新学期的の授業形式の全学的な方針を聞くと、回答日時点では未定とした京都大を除き、8大学は「対面とオンラインの組み合わせ」を回答した。対面とオンラインの分け方では各大学の個性がでた。①感染防止策がとれるか②実験など授業の形態③教育効果④教員の意向——から複数回答可で選んでもらったところ、北大、筑波大、東京大は全ての要素を回答した。大阪大は①③④、神

北大志願者1000人超減

共通テスト・コロナ影響が

2021年度の本学入試への志願者数が大きく落ち込んだ。出願締切日の5日時点の本学への一般選抜志願者数は前後期合わせ前年度比約1100人(約12%)減の8621人だった。大手予備校担当者は同年度から始まった大学入学共通テストで高得点を取る受験生が廃止になった歯学部分を

が減った影響を指摘する。北大新聞の集計では11年度以降志願者数が9500人を割ったことはなく、異例の少なさ。本学は前後期合わせ2416人を募集し、全体の倍率は3.6倍だった。とくに後期の減りが顕著で、21年度から後期募集が廃止になった歯学部分を



目理系で前年度比13%減、7科目文系で7%減だった。このため本学でA判定(合格可能性80%以上)を取る受験生が少なくなり「逃げ切りしにくく、2次試験勝負になる」(北山校長)という。本学には東京大などを前期で受けた受験生が後期で出願するケースが多いが、同年度に関しては本学を「抑えにできなかった」ため、志願者減になった可能性がある。本学は共通テストの配点も大きい。

また、新型コロナウイルスの影響もありそう。本学は例年、入学者の6割以上を道外生が占める。北山校長によると、全国的に都道府県をまたぐ進学が減り、地元志向が強まっている。保護者からも「1人暮らしでオンラインは不安」との声が聞かれるという。

本学入試課は推測とした上で、「後期が減っているのは道外の志願者が減っている感覚はある」と話しており、近く精査する方針。

構成員6人感染

1月

本学は1月、学生や職員ら計6人の感染を発表した。公表日と内訳は14日に学生3人、22日に学生1人、28日に学生と職員各1人。

12月には8人の構成員の感染が確認されていた。本学の山口淳二理事・副学長は、友人同士の会食が原因と推測される感染や、会食で濃厚接触した事例が少なからずあると明かし、「大学として大変遺憾」だとするメッセージを出した。

1/26 北大生協、食堂が大打撃 20年

北大生協の2020年3月から12月までの利用実績が同生協への取材でわかった。新型コロナウイルスの影響で食堂は特に打撃を受け、客数・売り上げ(供給)ともに前年同期比で7割減だった。このほか部門別の実績として、購買では客数が約70%減り、食品の売り上げも約70%減少。一方、パソコンや液晶ディスプレイなどの売れ行きが好調で購買全体の売り上げは約15%の減少にとどまった。書籍では客数は約40%減ったものの教科書販売などが伸び、売り上げは2.4%の減少に抑えられた。

ニュースDIGEST

1/5 新「うしお丸」建造へ 3代目

老朽化していた本学水産学部付属の練習船「うしお丸」の後継となる新船を建造し2022年3月に引き渡される予定であることが文部科学省と本学への取材でわかった。現行のうしお丸より居住性を高めるほか、新型コロナウイルスなど感染症の対策を施す見込み。大規模な災害が発生した際に災害支援できる機能も搭載する方針だ。

1/7 北大生協、レストラン臨時営業

北大生協は中央食堂隣の建物「エンレイソウ」内のレストランを臨時営業している。2020年3月に閉店した旧「レストランエルム」のスペースを活用し、3月19日まで営業する。営業は平日の午前11時から午後2時まで。メニューは通常の生協食堂とは違った特別なものを用意。目玉は北海道産の野菜を使ったオリジナルカレー(税込600円)で、営業期間を通して約1700食限定だ。その他日替わり定食なども提供する。

1/16 北大祭テーマ決定 開催判断へ

北大祭事務局は1月16日、今年の北大祭のテーマを「Blue Ocean」に決定した。新型コロナウイルスス下で大学祭の先例が少ない中、「Blue Ocean」(未開拓市場)を切り開き「新しい北大祭」をつくりたいという思いが込められている。他の2つの候補と合わせ、本学学生を対象に投票を行った。

北大祭の開催判断については、4月上旬に開かれる見込みの全学実行委員会で行う予定。会議では、①6月に対面縮小開催②6月に全面オンライン開催③秋への延期④中止——の主に4つの選択肢を検討するとして、対面縮小開催では一部企画のオンライン実施も視野に入れる。

大学活動との両立工夫

各大学アンケート

北大新聞と東北大学新聞が合同で実施したアンケートではコロナ感染対策と大学活動の両立の工夫点を任意で聞き、6大学が回答した。北大は授業・研究・会議などにおいて積極的にオンラインを活用することで、感染対策と大学活動の両立を図っている。

北大は学生の心のケアとして、応援&感謝メッセージ集の1年生への配布や学生応援動画などの学生応援プロジェクトを行っている。また課外活動について、

北大「オンライン積極活用」
東北大「動画などで学生支援」
東大「人口密度モニタリング」
京大「独自の感染対策教材」
阪大「高リスク接触者指定」
九大「コロナ研究学内公募」

て、感染対策をした活動を積極的に支援しているほか、感染拡大状況を見ながら段階的に活動を再開するためのルールを策定したという。

東京大は健康管理報告サイトでの体温・体調の管理のほか、学内各部屋の換気状況の把握と改善、人口密度のモニタリングなどの対策を実施しているという。

京都大は全学生が生活の中に感染症対策を取り入れて行動するよう、京都大学新型コロナウイルス対応専門委員会が提供する「大学

生窓口AIシステム」を導入した。また研究面ではコロナ対策の研究を対象に学内公募を行い、三井住友信託銀行の「新型コロナウイルス・治療薬開発寄付口座」の寄付金を原資に研究費を措置した。

コロナ下入試 感染対策は

2021年度入試は新型コロナウイルス下で行われる。アンケートによると各大学は換気や消毒液の設置などの対応を徹底する。東京大は担当課が多忙で、入試に関する設問は回答を得られなかった。

入試当日などの感染対策について東京大と、記述で回答した東北大を除く7大学は消毒液の設置のほか、換気、受験者のマスクの着

国連が後援する世界的な学生ビジネスコンペ大会、ハルトプライズの今年度の学内大会が1月16日に行われ、本学留学生らのチーム「FLOATMEAL」が4チームを抑えて優勝した。同チームは今後世界各都市で行われる地域予選に出場する予定だ。



優勝した FLOATMEAL とオンライン参加の審査員 (1月16日、北キャンパス)

浮草案が学内優勝 SDGs発想競う学生コンペ

人それぞれビジネスや機械の設計など得意分野を生かしている。新型コロナウイルス禍でメンバーが直接会うことが難しく、ウェブ会議はプレゼンの練習に向かず苦労したという。そんな中でもメンバー全員が意見を聞けるような環境を作り出した。そんな中でもメンバー全員が意見を聞けるような環境を作り出した。

用に対応を取る。北大、筑波大、一橋大、大阪大、九州大は受験者に当日までの体調を記録してもらう。受験者の距離を例年よりも離すとの回答も北大、大阪大、神戸大からあった。北大は体調不良を申し出た受験者に対して検温もするという。

東北大は「文部科学省のガイドラインに沿って感染対策を行う」としている。合格者の発表の方法も北大を含めた5大学が例年か

北大生にコメなど配布 連合北海道など4団体

連合北海道などは9・10日、新型コロナウイルス禍で困窮する学生を支援しようと、本学でコメなどの食料千セツトを無料配布した。

初日の9日、配布会場の本学北部食堂には袋に詰められたコメや缶詰などが大量に用意され、配布対象の一人暮らしの学生らが列をなしていた。「頑張つて」などの声かけを受けつつ学生らは食料を受け取った。



食料のセツトを受け取る学生⑥ (9日、北部食堂)

北大生協ウェブサイトで事前募集には申し込みが殺到し、受付翌日には千セツト全て予約されていた。応募時のアンケートには「時短営業の影響でバイト収入が減っている」「生活がギリギリなので食べ物頂けるだけでも助かる」などの声があり、学生の困窮具合がうかがえた。

今回の食料支援は、連合北海道のほか北海道生活協同組合連合会など4団体に

北海道のほか北海道生活協同組合連合会など4団体に

連合北海道の杉山元・会長は「日本の財産である教育のため、そして学生が安心して学び暮らせる環境に向けて全力で取り組む」と話した。

同プロジェクトは今後、5月の連休明けに第2弾として道内他大学への支援を行う予定。連合北海道はプロジェクトを通じて若者の地元の定着や、道内企業の人材確保にもつなげていきたい考えた。

喫緊課題検討へ新組織 「未来戦略本部」設置

DXなど検討

本学は、業務のデジタル化など喫緊の課題への対応を検討する新組織「未来戦略本部」(本部長＝宝金清博)を設置した。大学を取り巻く課題に迅速かつ柔軟に対応していく狙いがあり、課題ごとに「部会」を設ける。

同本部は、理事を部会長とし教授や事務職員で構成する部会と、必要に応じてそのもとに置かれるタスクフォースからなる組織で、昨年11月に設置。12日現在

働き方改革を踏まえた業務のデジタル化を検討するDX(デジタルトランスフォーメーション)部会のほか、①経営的収入②大学院改革③大学憲章策定④SDGs推進の各検討部会を設けている。

本学では同本部のほかに「立案機構」として従来から経営戦略室や総長室、広報室などがあつたが、大学の中期目標の実現などがメインで、喫緊の課題には必ずしも対応しきれていない。政策調整室は秘書業務に特化した秘書室に改めた。

北大、請求棄却求める 情報不開示の取消訴訟 総長解任

本学の名和豊春前総長が解任された問題に関連し、名和氏が本学に対してハラスメント情報の不開示処分を取り消すよう求めた訴訟の第1回口頭弁論が5日、札幌地裁(広瀬孝裁判長)であった。本学側は請求棄却を求めた。

大卒内定率 82.2 % 12月、4.9%減 21卒

厚生労働・文部科学両省は1月15日、2021年春大学卒業予定者の就職内定率が、20年12月1日時点で

82.2%だったと発表した。前年同相比で4.9%低下した。国公立大学卒のみの内定率は87.8%。前年同相比で1.9%減だった一方、過去25年間では3番目に高い。地域別大卒内定率では、北海道・東北

地区が最も高く84.0%だ。同地区の内定率は、前年同相比で5%下がった。調査では、両省が国立大21校を含む大学等の学校計112校から6250人を抽出し調べた。

THE MAINSTREET
Powered by 北大新聞

ウェブサイト
Twitter